

介護福祉学科

カリキュラム・ポリシー <CP>（教育課程編成・実施の方針）

教育目標とそれにかかわるディプロマ・ポリシーに鑑み、以下の方針にそってカリキュラムを編成しています。

カリキュラムは、「教養科目」と「人間と社会」、「介護」、「こころとからだのしくみ」、「医療的ケア」で編成し、これを2年間に配置している。

「教養科目」は、専門職としての価値・知識・技術をもって、成長し続ける力を養うための土台作りの科目として編成されている。特に豊かな人間性を育むこと、短期大学での学び方の基礎を身につけること、進路選択・進路設計を考えることを重視している。

猟奇「人間と社会」、「介護」、「こころとからだのしくみ」、「医療的ケア」は、介護福祉士国家試験受験資格に関わる専門科目から構成させている。

「ディプロマ・ポリシー」に関連する科目構成と達成するための工夫

- (1) 感性や表現力を高め、豊かな人間性を培うため、人間の尊厳や発達、人間関係、コミュニケーションについて複数の科目で段階的・横断的に学ぶことができる科目構成としている。
- (2) 介護福祉に関する専門的知識・技術を身につけ、その人らしい生活や自立支援を図ることができる力を培うため、「教養科目」と領域「人間と社会」、「介護」、「こころとからだのしくみ」、「医療的ケア」に属する各科目について相互に関連づけながら段階的に学ぶことができる科目構成としている。
- (3) 根拠に基づく利用者本位のサービスを検討するため、生活支援技術と介護過程と介護実習を中心に各科目で修得した知識・技術を統合して介護過程を展開する能力を段階的に培うことができる科目構成としている。

(4) 探求心や課題解決力の基礎となる研究的態度を養うため、各科目で修得した専門的知識・技術や介護実習で得た学びを総合的に活用し、2年間の総まとめとして介護福祉研究に取り組む科目構成としている。

(5) 地域における生活支援実践力を高められるよう、多職種との連携や地域の理解について複数の科目と介護実習で段階的・横断的に学ぶことができる科目構成としている。